

論語ウィーク

令和4年10月11日

10月3日（月）～7日（金）は論語ウィークでした。論語への理解を深めるとともに、論語の教を学んだり、実践したりする1週間としてこの論語ウィークは設定されました。論語ウィークの取組として生徒会執行部を中心に論語カルタ大会、論語検定など様々な催しが行われました。

月曜日には、体育会のときの赤、青、黄グループに分かれ「論語カルタ大会ブロック会」が実施されました。それぞれのグループを6つに割り振り、ブロックの中で論語カルタを行いました。1戦1戦白熱した試合が行われ、体育会以来のブロックの結束や真剣勝負の楽しさを感じることができました。

火曜日には、論語朝礼が行われました。今月の論語は「内を省みて疚^{やま}しからずんば、それ何をか憂え、何をか懼^{おそ}れん」でした。意味として『自分自身の行動を振り返ってみて、何かやましいことがないとすれば、いったい何をくよくよ心配し、何をびくびく恐れることがあるだろう』という教えです。心の中に自分をコントロールできる支えがあれば、何ら心配もいらずいつも正しいと思う行動をとれるし、自信をもって取り組む勇気もわいてきます。そのような、生活をしていきたいですね。

水曜日には、論語カルタ大会本番がありました。ブロック会での成果を出そうとみんな一生懸命に札と向き合っていました。対戦が始まると読み手の声が聞こえた瞬間に「ハイっ！！」という声と、取った人を称える拍手が学校中に響いていました。結果として順位はつきましたが、全校生徒が論語カルタを通じて一体となっていると感じることができました。

金曜日には、論語検定がありました。事前にプレ論語検定で出題の傾向をつかんだのち、検定問題を実施しました。問題は多岐にわたり、論語カルタで使った札に関する問題や論語の歴史に関する問題など、幅広い論語の知識が必要でした。検定問題の9割以上の正解者は1級、8割以上の正解者は2級に認定されます。成績の優秀者は11月の朝礼で表彰があります。今から楽しみです。

生徒会選挙の準備などの行事が重なって、生徒会執行部の生徒の皆さんは特に大変な1週間になったと思います。皆さんのおかげで楽しく行事を終えることができました。大変ありがとうございました。また、3年生にとっては2学期の大きな行事は、あと蒼緑祭を残すのみになりました。全力で取り組み、行事の締めを最高のものにしてほしいと思いました。

